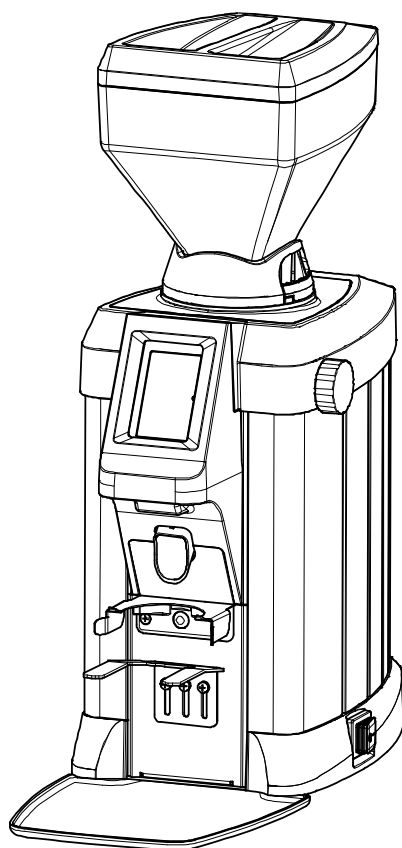


エスプレッソ専用ミル 【ラ・チンバリ】

G50（業務用）

LA CIMBALI

取扱説明書



このたびは、当社のエスプレッソ専用ミル（G50）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

安全上のご注意.....	1～5
各部の名称.....	6・7
本体.....	6
タッチパネル.....	7
操作手順.....	8～20
使用前の準備.....	8～10
コーヒー豆の挽きかた（マニュアルモード）.....	11・12
任意の量の豆を挽く場合（マニュアルモード）.....	13
コーヒー豆の挽きかた（プリセットモード）.....	14～16
メッシュ（挽き目）調節について.....	17・18
豆挽き時間（量）の変更方法（『  』アイコン使用）.....	19・20
ユーザー設定について.....	22～41
ユーザー設定画面.....	22・23
ユーザー設定のメニュー.....	24～27
マニュアルモードとプリセットモードの切替え方法.....	28・29
カウンターの表示方法.....	30・31
豆挽き時間（量）の変更方法.....	32・33
プリセットモード時の追加機能の設定.....	34・35
アイコンとアイコンの色の変更方法.....	36・37
省電力機能の設定方法.....	38・39
ユーザー設定画面に入るためのパスワードの設定.....	40・41
お手入れ.....	42・43
エラー表示.....	44
故障の診断と手当.....	45・46
据付けについて.....	47
仕様.....	48
保証書（別添付）について/消耗部品/補修用性能部品の保有期間.....	49

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください

表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警告



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
アース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントに直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多いところや、水などがかかり易い場所で使用しないこと

本体や電源コードに水などがかかりますと、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが破損している場合は使用しないこと

そのまま使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグは、電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着した場合や、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

⚠ 警告



連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本機の電源スイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグを抜く

異常時は電源スイッチを「OFF(切)」にして機械を止め、コンセントから電源プラグを抜いて、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



換気

ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用せずに、窓をあけて換気すること

本機の電源スイッチを操作したり、コンセントから電源プラグを抜いたりすると、引火爆発し危険です。



挿入禁止

ミルカッターの回転中は、ホッパーの中からカッター内部に指、箸、スプーンなどを入れないこと

ケガの原因になります。



プラグを抜く

ホッパーの中に手を入れるときは、電源スイッチを「OFF(切)」にして機械を止め、コンセントから電源プラグを抜くこと

誤って豆挽きアイコンをタップ、または『グラインドスイッチ』を押した場合、ミルカッターが回転してケガの原因になります。



禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないこと

修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、ショート、感電、火災の原因になります。

⚠ 警告



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること
放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

コンセントから電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると電源プラグ内部でコードが傷つき、ショート、感電、火災の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具の周囲に置いたりしないこと

熱でプラスチックが変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

本機の電源スイッチを「ON(入)」にしたり、電源プラグを抜いたり（電源プラグ使用の場合）すると、発火の原因になります。



開放禁止

常時、ホッパー蓋は閉めておくこと

開けたままにしますと、不純物（虫、ホコリなど）が混入する原因になります。



拭き取る

ホッパーのお手入れに洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に拭き取ること

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。

⚠ 注 意



プラグを抜く

お手入れのときや点検のときは、必ず電源スイッチを「OFF(切)」にして機械を止め、コンセントから電源プラグを抜くこと

誤って豆挽きアイコンをタップ、または『グラインドスイッチ』を押した場合、ミルカッターが回転してケガの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグを抜く

ご使用後は、安全のため電源スイッチが「OFF(切)」になっていることを確認し、コンセントから電源プラグを抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



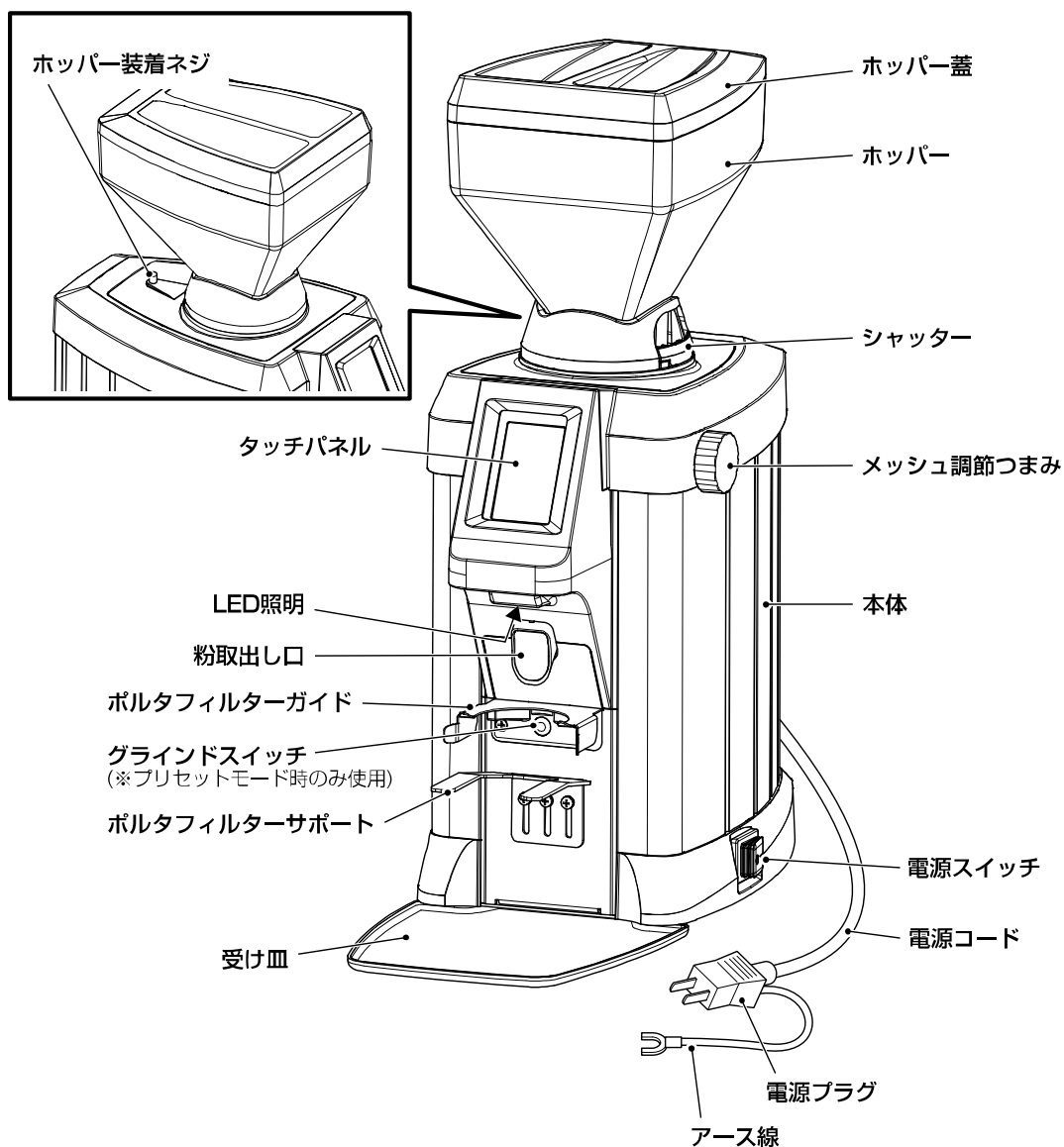
テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めること

各部の名称

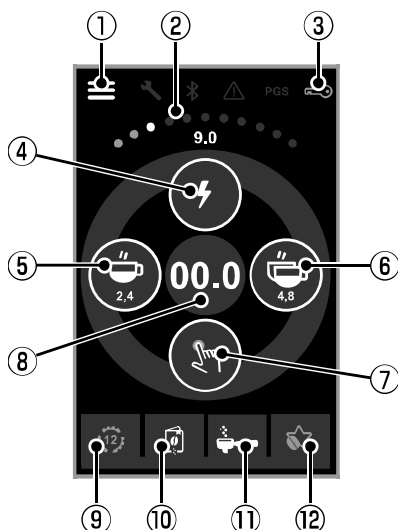
本機は、エスプレッソ用にコーヒー豆を挽く機械です

本体



タッチパネル

ホーム画面



①『≡』アイコン

このアイコンをタップすると、ユーザー設定画面が表示されます。

②メッシュゲージ

メッシュ（挽き目）の目盛りです。
メッシュ調節つまみを回すと目盛りと値が変わります。

③『🔑』アイコン

サービスマンが、メンテナンス時に使用します。

④『フラッシュ』アイコン

約0.3秒間コーヒー豆を挽きます。
ごく少量の豆を挽きたいときに使用します。

⑤『1杯用豆挽き』アイコン

1杯分のコーヒー豆を挽きます。
アイコンに表示されている数値は、設定されている豆挽き時間です。
途中で豆挽きを中止したい場合は、もう一度このアイコンをタップしてください。

⑥『2杯用豆挽き』アイコン

2杯分のコーヒー豆を挽きます。
アイコンに表示されている数値は、設定されている豆挽き時間です。
途中で豆挽きを中止したい場合は、もう一度このアイコンをタップしてください。

⑦『連続豆挽き』アイコン

連続でコーヒー豆を挽きます。
豆挽きを止める場合は、もう一度このアイコンをタップしてください。

⑧豆挽き時間表示（秒）

1杯用と、2杯用豆挽き中は、設定した時間からカウントダウンします。
連続豆挽き中は、0.0秒からカウントアップします。

⑨『🔧』アイコン

使用しません。

⑩『⚙️』アイコン

このアイコンをタップすると、豆挽き時間(量)の設定画面が表示されます。
豆挽き時間(量)を変更したり、アイコンを切替えたりすることができます。

⑪『☞』アイコン

このアイコンをタップすると、豆挽きモードの設定画面が表示されます。
マニュアルモード、またはプリセットモードに切替えることができます。

⑫『★』アイコン

使用しません。

操作手順

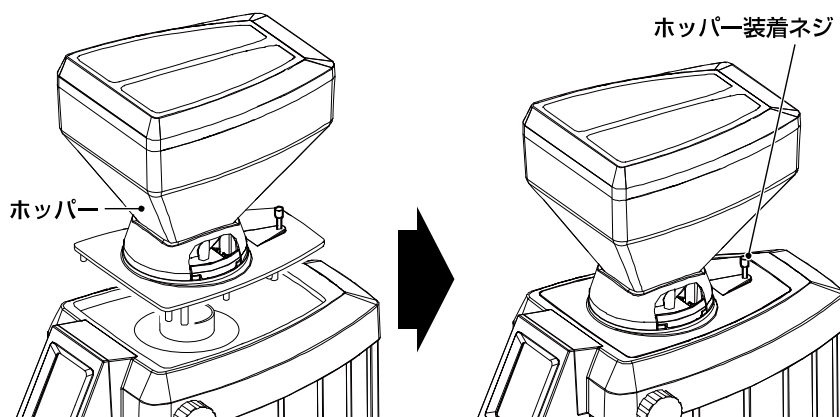
使用前の準備

1. ご使用になる前に、ホッパーを清掃してください

→ 「お手入れ」 (42ページ) を参照してください。

2. ホッパーを本体上部に取り付けてください

ホッパーを取り付けた後は、ホッパーの後側にあるホッパー装着ネジをきちんと締めて固定してください。



お願い

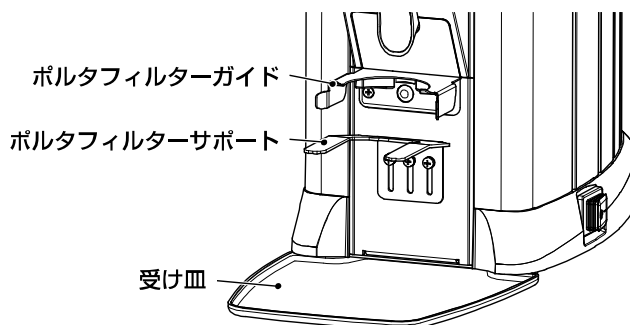
ホッパー装着ネジは必ず締めてください。

ホッパー装着ネジは、安全装置を兼ねているため、本体のネジ穴にきちんと締められていないと、豆挽きアイコンをタップしても豆を挽きません。

ホッパーを取り外す場合は、シャッターを閉め、必ずホッパー装着ネジを完全にゆるめてから取り外してください。

ホッパー装着ネジが完全にゆるんだ状態で、ホッパーを取り外さないと、ホッパーを破損させる恐れがあります。

3. 受け皿を本体のポルタフィルターサポートの下にセットしてください



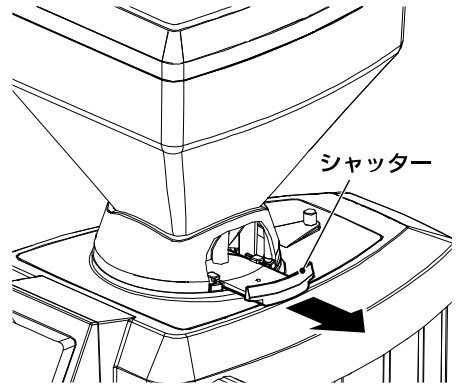
4. ホッパーのシャッターを開いてください

シャッターを右方向に引き出して、「カチッ」と音が鳴るところまで開けてください。

メモ

シャッターは、引き出し過ぎるとホッパーから外れます。

故障ではありませんので、外れた場合は、ホッパーに元どおり取り付けてください。



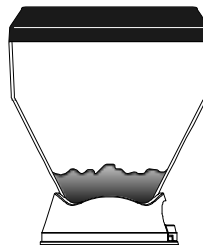
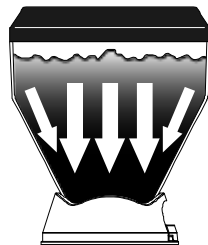
5. ホッパー内にコーヒー豆を入れてください

ホッパー蓋を取り外し、コーヒー豆（最高1.0kgまで）を入れてホッパー蓋をセットしてください。

メモ

ホッパーの豆量が少なくなると（約3分目以下）、ミルカッターにかかる重量が軽くなり、コーヒー粉の状態にバラつきが出る可能性があります。

安定したメッシュを得るため、ホッパー内にはコーヒー豆を3分目以上入れておいてください。



※豆が少なすぎるとメッシュは粗くなる。→抽出時間が速くなる。

お願い

ホッパー内にコーヒー豆以外の異物や金属物が入らないようにしてください。

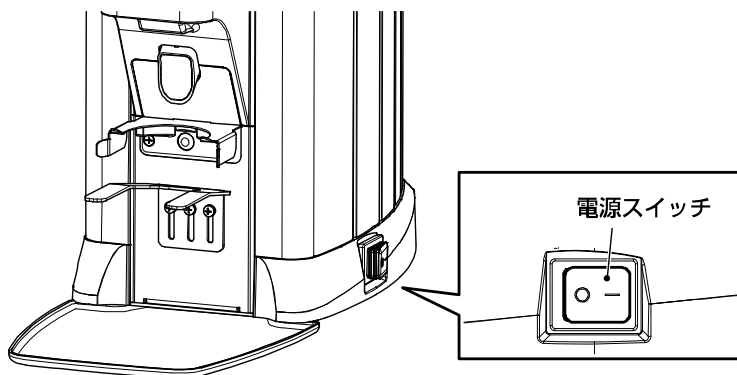
機械の故障、カッター破損の原因になります。

万一、カッターに異物がかみ込んだ場合、モーターがロックすることがあります。

その場合は、電源スイッチを「OFF(切)」にして、ホッパー内のコーヒー豆を取り出して異物を除去してください。

6. 専用コンセントに、本機の電源プラグを差し込んで、電源スイッチを「ON(入)」にしてください

本体右側面下部にある電源スイッチを「I」の方向に倒し、電源スイッチを「ON(入)」にしてください。



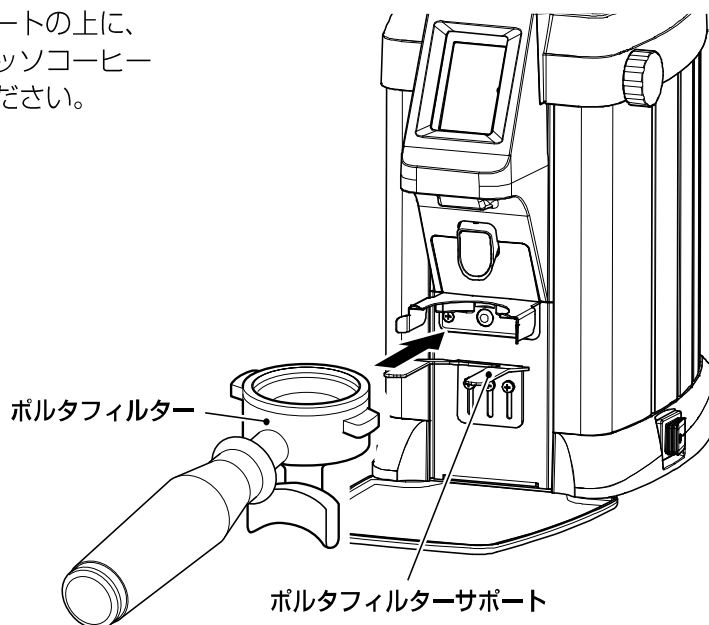
タッチパネルには以下のように表示された後、ホーム画面が表示され、LED照明が点灯します。



コーヒー豆の挽きかた（マニュアルモード）

1. ポルタフィルターを本体のポルタフィルターサポートの上にセットしてください

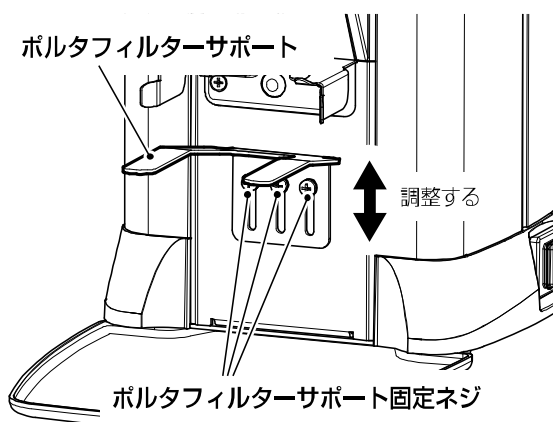
本体のポルタフィルターサポートの上に、ポルタフィルター（エスプレッソコーヒーマシンの付属品）を載せてください。



お願い

ポルタフィルターの高さが合わないときは、ポルタフィルターサポートの高さを調整してください。

プラスドライバーで固定ネジ3本をゆるめて、ポルタフィルターサポートの高さを調整した後、固定ネジを締めてください。



2. コーヒー豆を挽いてください

タッチパネルの『1杯用豆挽き』アイコン、または『2杯用豆挽き』アイコンをタップすると、設定された時間コーヒー豆を挽き自動で停止します。

途中で中止したい場合はもう一度、『1杯用豆挽き』アイコン、または『2杯用豆挽き』アイコンをタップしてください。



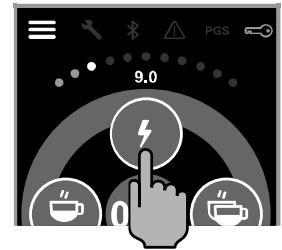
または



粉取出口の上部にあるLED照明は、ホーム画面の表示中や豆挽き動作中に点灯します。豆挽きをおこなって豆挽きが完了した直後は、LED照明が5回点滅し、豆挽きの完了をお知らせします。

追加で、ごく少量の豆を挽く場合は、『フラッシュ』アイコンをタップしてください。

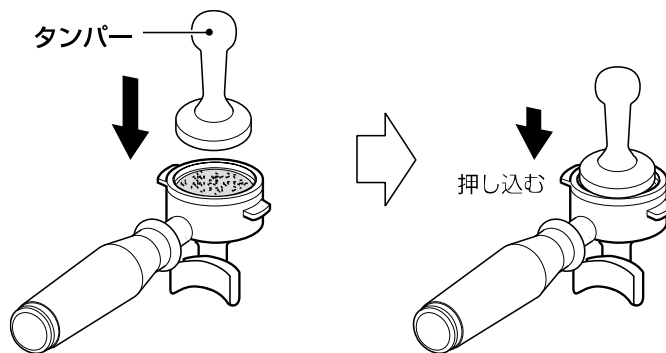
約0.3秒間だけ豆を挽きます。



3. コーヒー粉が入ったポルタフィルターを取り外してください

4. タンパーを使ってコーヒー粉を平らにしてください

タンパーをコーヒー粉の真上から押し当て、表面を平らにしてください。



ポルタフィルターをエスプレッソコーヒーマシンにセットし抽出してください。ポルタフィルターのセットのしかたと、抽出のしかたについては、エスプレッソコーヒーマシンの取扱説明書をお読みください。

任意の量の豆を挽く場合（マニュアルモード）

設定した豆挽き量以外の量を挽きたい場合について説明します

1. 『連続豆挽き』アイコンをタップしてください

豆を挽き始めます。



2. 必要な量の豆が挽けたら、もう一度アイコンをタップして止めてください

最大15秒間豆を挽かせることができます。

15秒を経過すると、豆挽きは自動で停止します。



連続豆挽き時の豆挽き回数のカウントは、1 杯用と 2 杯用の豆挽き時間設定値をもとに自動的に計算されます。

コーヒー豆の挽きかた（プリセットモード）

プリセットモードに設定しておきますと、ポルタフィルターで本体の『グラインドスイッチ』を押すのと同時に、設定された量の豆を挽きます

1. プリセットモードを設定してください

ホーム画面の『☞』アイコンをタップしてプリセット設定画面を表示させてください。



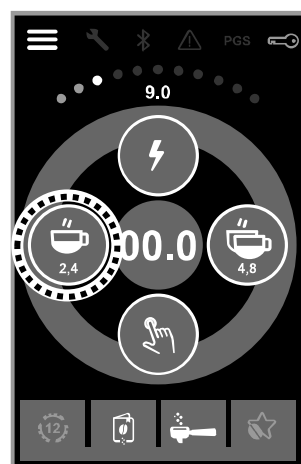
主に使用する豆挽きアイコン、『1杯用豆挽き』アイコン、または『2杯用豆挽き』アイコンのいずれかをタップしてください。

『AUTO』アイコンをタップすると、マニュアルモードの設定になります。

画面左上の『◀』アイコンをタップしてホーム画面に戻ってください。

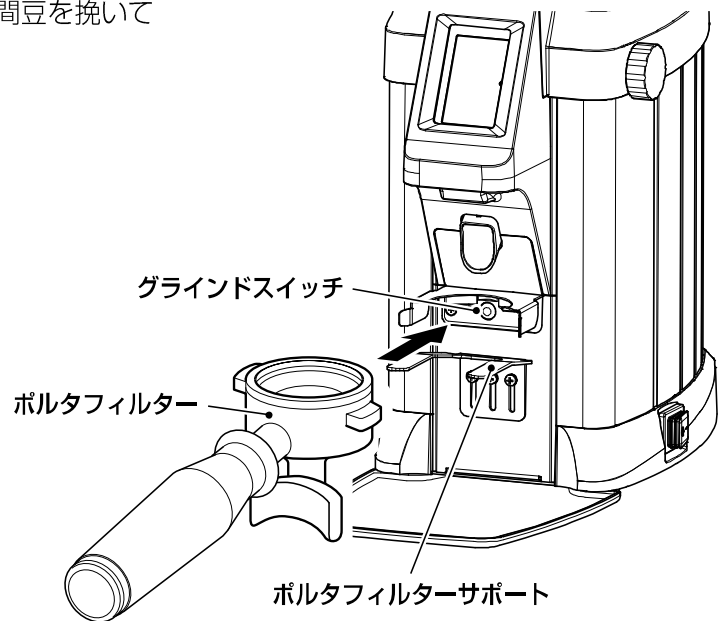


選択した豆挽きアイコンの輪が点滅表示されます。
右の画面は、『1杯用豆挽き』アイコンを選択した場合の表示です。



2. ポルタフィルターを本体のポルタフィルターサポートの上にセットし、『グラインドスイッチ』を押してください

アイコンに設定されている時間豆を挽いて停止します。



メモ

プリセットモード時の追加機能を ON にしている場合

アイコンに設定されている時間豆を挽き終わるまで、ポルタフィルターで『グラインドスイッチ』を押し続けてください。

プリセットモード時の追加機能については、「プリセットモード時の追加機能の設定」(34ページ)を参照してください。

プリセットモードで、設定している豆挽きアイコン以外の豆挽きをおこないたい場合

ポルタフィルターをセットする前に、お好みの豆挽きアイコンをタップしてください。タップした豆挽きアイコンの輪が点滅表示されます。

その状態で、ポルタフィルターをセットし、『グラインドスイッチ』を押してください。アイコンに設定されている時間豆を挽いて停止します。

豆を挽いた後は、元の豆挽きアイコンの輪が点滅表示に戻ります。

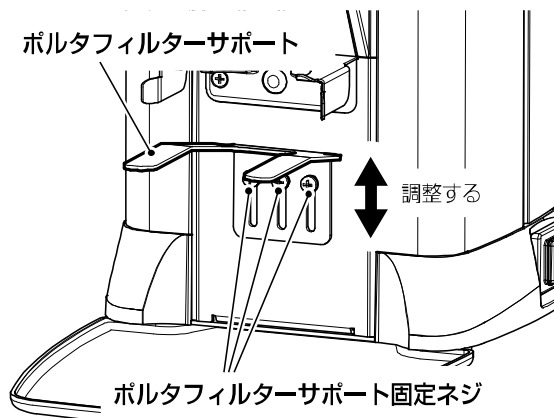
粉取出口の上部にあるLED照明は、ホーム画面の表示中や豆挽き動作中に点灯します。豆挽きをおこなって豆挽きが完了した後、LED照明が点滅し、豆挽きの完了をお知らせします。

LED照明の点滅は、ポルタフィルターを『グラインドスイッチ』から離すまで続きます。ポルタフィルターを『グラインドスイッチ』から離すと、LED照明が5回点滅した後、点灯に戻ります。

お願い

ポルタフィルターの高さが合わないときは、ポルタフィルターサポートの高さを調整してください。

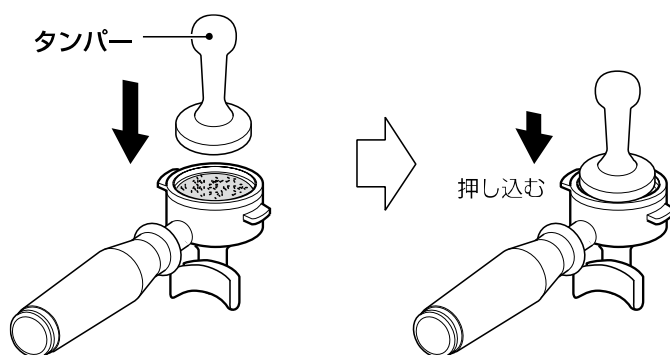
プラスドライバーで固定ネジ3本をゆるめて、ポルタフィルターサポートの高さを調整した後、固定ネジを締めてください。



3. コーヒー粉が入ったポルタフィルターを取り外してください

4. タンパーを使ってコーヒー粉を平らにしてください

タンパーをコーヒー粉の真上から押し当て、表面を平らにしてください。

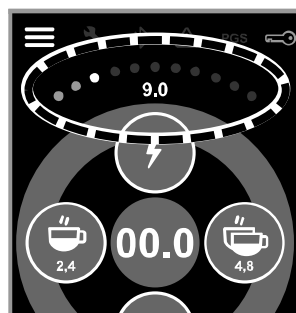


ポルタフィルターをエスプレッソコーヒーマシンにセットし抽出してください。
ポルタフィルターのセットのしかたと、抽出のしかたについては、エスプレッソコーヒーマシンの取扱説明書をお読みください。

メッシュ（挽き目）調節について

コーヒー粉のメッシュは、実際にエスプレッソコーヒーマシンでエスプレッソを抽出して、抽出の状態を確認し、お客様の好みのメッシュになるよう調節してください

ホーム画面の「メッシュゲージ」を確認しながら、メッシュ調節つまみを回してください



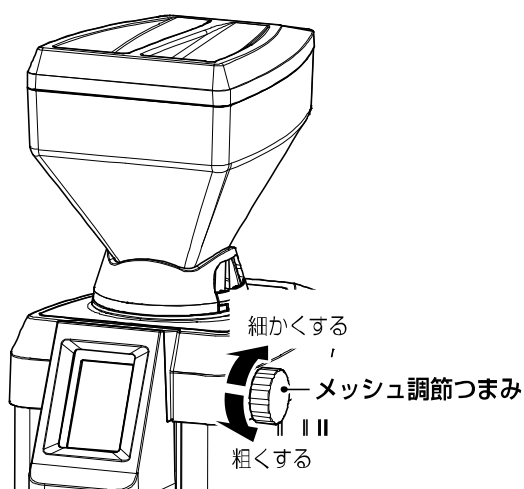
メッシュ調節つまみを回すときは、ゆっくり半周ずつ回し、その都度実際に豆を挽いて粗さを確認してください。

抽出時間が短く泡立ちが悪い場合

- メッシュを細かくする
右側から見て時計方向に回してください。

抽出時間が長すぎる場合

- メッシュを粗くする
右側から見て反時計方向に回してください。



メッシュ調節つまみを半周回すと、画面の値が0.5刻みで変わります。

メッシュを細かくする(時計方向に回す)

- 値は小さくなる

メッシュを粗くする(反時計方向に回す)

- 値は大きくなる



お願い

カッターが擦れ合うところまで、メッシュを細かくしないでください。

ミルカッターの目詰まりや、モーターの故障の原因になります。

新品のコーヒーミルは、使い始めしばらくはミルカッターの刃が馴染んでいないため、摩耗が速く進みます。

そのためメッシュが粗くなりますので定期的に調節をおこなう必要があります。

本機も、使い始めから50kg～80kg程度（コーヒー豆の種類によって異なる）のコーヒー豆を挽くまではミルカッターの摩耗が速く導入時に比べてメッシュが粗くなっていきます。

ミルカッターの刃が馴染んできると、ミルカッターの摩耗速度が遅くなり、メッシュが安定してきます。

ただし、美味しいエスプレッソを提供していただくために、定期的にエスプレッソの抽出状態を確認し、メッシュの微調整をおこなってください。

ホッパー内のコーヒー豆量が少なくなるとメッシュが粗くなりますので、9ページをご参照いただき、ホッパー内の豆量を常に3分目以上に保ってご使用ください。

コーヒー豆が全く挽けない場合は、メッシュ値を約10大きく（粗くする）して、一度粗挽きにしてから徐々に元のメッシュに戻してください。

季節やその日の天候、気温、湿度により、コーヒーの抽出時間が変わることがあります。

コーヒーマシンでコーヒーを抽出して、コーヒーの抽出時間が変わっているときは、メッシュの調節をおこなってください。

メッシュを調節する際は、メッシュ調節つまみを回転させ、メッシュの値が0.5 変化したところで止め、その都度実際に豆を挽いて粗さを確認してください。

メッシュ調節つまみを一気に回されると、ミルカッター内にコーヒー豆が入っている場合、カッターがロックする原因になります。

メッシュ調節をおこなっても細かくならなかった場合は、ミルカッターの寿命ですので、交換が必要となります。お買上げ店にご連絡ください。

豆挽き時間（量）の変更方法（『☑️』アイコン使用）

ここでは、ホーム画面の『☑️』アイコンを使っておこなう豆挽き時間（量）の変更方法について説明しています

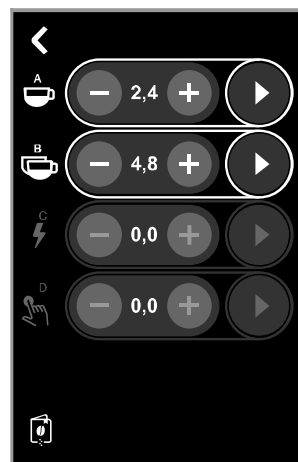
1. 『☑️』アイコンをタップしてください

豆挽き時間（量）の設定画面が表示されます。



2. 豆挽き時間（量）の設定を変更してください

操作をやめる場合は、『◀️』アイコンをタップしてください。



設定できる項目は、下表のとおりです。

項目	内容	設定 / 選択値
	『1 杯用豆挽き』アイコン	『1 杯用豆挽き』アイコンに設定されている豆挽き時間（量）を変更することができます。 設定可能範囲：1.0～15.0（単位：秒） （0.1秒刻み）

項目	内容	設定 / 選択値
	『2杯用豆挽き』アイコン	『2杯用豆挽き』アイコンに設定されている豆挽き時間（量）を変更することができます。 設定可能範囲：1.0～15.0（単位：秒） （0.1秒刻み）
	『フラッシュ』アイコン	『フラッシュ』アイコンの豆挽き時間（量）は、0.3秒間で固定です。 変更することはできません。
	『連続豆挽き』アイコン	『連続豆挽き』アイコンは、豆挽き時間（量）を変更することはできません。

『－』または『＋』をタップして豆挽き時間（量）の値を変更してください。
値を変更した後、『▶』アイコンをタップすると、実際に豆を挽いて豆挽き量を確認することができます。

3. 豆挽き時間の設定を終了してください

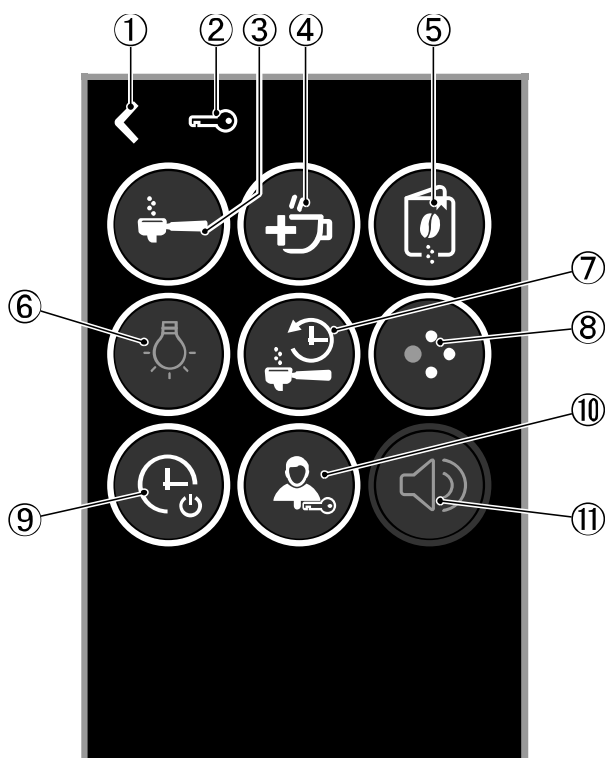
ホーム画面に戻るには、画面左上の『◀』アイコンをタップしてください。

ユーザー設定について

ここでは、本機各設定の変更方法について説明します

ユーザー設定画面

ホーム画面の『☰』アイコンをタップしてください。
ユーザー設定画面が表示されます。



① 『』 アイコン

前画面に戻ります。

② 『』 アイコン

サービスマンが、メンテナンス時に使用します。

③ 『 豆挽きモード選択』 アイコン

豆挽きの設定をマニュアルモードまたはプリセットモードに切替えることができます。

工場出荷時の設定は、マニュアルモードです。

24ページを参照してください。

④ 『 カウンター』 アイコン

電源スイッチを「ON(入)」にしてからの1時間あたりの豆挽き回数を確認することができます。

前回リセットしてから現在までの豆挽きの合計回数などを確認することができます。

25ページを参照してください。

⑤ 『 豆挽き時間の設定』 アイコン

豆挽き時間（量）を変更することができます。

25ページを参照してください。

⑥ 『 LED照明の設定』 アイコン

背面のLED照明が搭載されているモデルは、LED照明を設定することができます。

日本では背面にLED照明が搭載されているモデルの取り扱いはありません。

⑦ 『 プリセットモード時の追加機能』 アイコン

プリセットモードを選択している場合に使用する設定です。

26ページを参照してください。

⑧ 『 アイコンの変更』 アイコン

豆挽きアイコンを変更することができます。

豆挽きアイコンの輪の色を変えることができます。

27ページを参照してください。

⑨ 『 省電力機能設定』 アイコン

ONにすると、設定した時間、何も操作をおこなわないと、画面が少し暗くなります。

画面が暗くなるまでの時間を設定することもできます。

27ページを参照してください。

⑩ 『 パスワード変更』 アイコン

ユーザー設定に入るためのパスワードを設定している場合のパスワードを変更することができます。

27ページを参照してください。

⑪ 『 音の設定』 アイコン

音の設定です。

設定を変えることはできません。

ユーザー設定のメニュー

「☞ 豆挽きモード選択」

豆挽きの設定をマニュアルモード、またはプリセットモードに切替えることができます。

マニュアルモードは、ポルタフィルターを本体にセットしてから豆挽きアイコンをタップすると、設定された量のコーヒー豆を挽きます。

プリセットモードは、ポルタフィルターを本体にセットし、『グラインドスイッチ』を押すと、設定された量のコーヒー豆を自動で挽きます。

28ページを参照してください。

項目	内容	設定 / 選択値
	マニュアルモード	タッチパネルの豆挽きアイコンをタップすると、豆を挽きます。
	プリセットAカップ (『1杯用豆挽き』アイコン)	ポルタフィルターをポルタフィルターサポートにセットし、『グラインドスイッチ』を押すと、1杯用の豆を挽きます。 2杯用、または微量、連続で豆を挽く場合は、ホーム画面で『2杯用豆挽き』、または『フラッシュ』、『連続豆挽き』アイコンをタップしてから、ポルタフィルターで本体の『グラインドスイッチ』を押してください。
	プリセットBカップ (『2杯用豆挽き』アイコン)	ポルタフィルターをポルタフィルターサポートにセットし、『グラインドスイッチ』を押すと、2杯用の豆を挽きます。 1杯用、または微量、連続で豆を挽く場合は、ホーム画面で『1杯用豆挽き』、または『フラッシュ』、『連続豆挽き』アイコンをタップしてから、ポルタフィルターで本体の『グラインドスイッチ』を押してください。
	プリセットCカップ (『フラッシュ』アイコン)	フラッシュは、プリセットに設定することができません。 『1杯用豆挽き』、または『2杯用豆挽き』アイコンに設定していると選択することができます。
	プリセットDカップ (『連続豆挽き』アイコン)	連続豆挽きは、プリセットに設定することができません。 『1杯用豆挽き』、または『2杯用豆挽き』アイコンに設定していると選択することができます。

「 カウンター」

電源スイッチを「ON(入)」にしてからの1時間あたりの豆挽き回数を確認することができます。

前回カウンターをリセットしてから現在までの豆挽きの合計回数と、電源スイッチが「ON(入)」になっていた時間を確認することができます。

30ページを参照してください。

項目	内容	設定 / 選択値
	電源スイッチを「ON(入)」にしてからの1時間あたりの豆挽き回数	電源スイッチを「OFF(切)」にすると数値はリセットされて0になります。
	前回カウンターをリセットしてから現在までの豆挽きの合計回数 2杯用豆挽きは2回豆挽きしたものとしてカウントされます。 連続豆挽きは、1杯用豆挽きと2杯用豆挽き時間の設定値をもとにカウントされます。	『  』アイコンを約1秒間長押しすると数値がリセットされて値が0になります。
	本機の電源スイッチが「ON(入)」になっていた時間 d：日数、h：時間、m：分	電源スイッチを「OFF(切)」にすると数値はリセットされて0になります。

「 豆挽き時間の設定」

豆挽き時間（量）を変更することができます。

32ページを参照してください。

項目	内容	設定 / 選択値
	メッシュ調節の値	メッシュ調節つまみをゆっくり半周回すと、0.5刻みで値が変わります。
	『1杯用豆挽き』アイコン	『1杯用豆挽き』アイコンに設定されている豆挽き時間（量）を変更することができます。 設定可能範囲：1.0～15.0（単位：秒） （0.1秒刻み）

項目	内容	設定 / 選択値
	『2杯用豆挽き』アイコン	『2杯用豆挽き』アイコンに設定されている豆挽き時間（量）を変更することができます。 設定可能範囲：1.0～15.0（単位：秒） （0.1秒刻み）
	『フラッシュ』アイコン	『フラッシュ』アイコンの豆挽き時間（量）は、0.3秒間で固定です。 変更することはできません。
	『連続豆挽き』アイコン	『連続豆挽き』アイコンは、豆挽き時間（量）を変更することはできません。

「 プリセットモード時の追加機能」

プリセットモード時の追加機能をONにすると、ポルタフィルターで『グラインドスイッチ』を押している間、設定されている豆挽き時間（量）の豆を挽きます。

豆挽きの途中『グラインドスイッチ』からポルタフィルターを離すと豆挽きを中断します。

豆挽きを中断したときの限度時間を設定することができます。

豆挽きを中断したときの1回の中断時間が、設定されている限度時間を超えると、豆挽き動作がリセットされます。

34ページを参照してください。

項目	内容	設定 / 選択値
	「  」（追加機能ON）	プリセットモードを選択している場合、ポルタフィルターで『グラインドスイッチ』を押している間、設定されている時間（量）の豆を挽きます。 豆挽きの途中『グラインドスイッチ』からポルタフィルターを離すと、豆挽きを中断します。 再度『グラインドスイッチ』を押すと、豆挽きを継続しておこないます。
	「  」（追加機能OFF）	プリセットモードを選択している場合、ポルタフィルターで『グラインドスイッチ』を1度押すと、設定されている時間（量）の豆を挽きます。 豆挽きの途中『グラインドスイッチ』からポルタフィルターを離しても、豆挽きは中断されません。

項目	内容	設定 / 選択値
	中断の限度時間	中断の限度時間の設定です。 追加機能を「」(ON)の状態、豆挽きの途中『グライندスイッチ』からポルタフィルターを離すと、豆挽きを中断します。 中断している時間が、設定されている限度時間を超えると、豆挽き動作がリセットされます。 設定可能範囲：1 ～ 5 （単位：秒） （1秒刻み）

「 アイコンの変更」

豆挽きアイコンは、お好みで「1杯用豆挽き」、「2杯用豆挽き」、「フラッシュ」、「連続豆挽き」、「OFF」(非表示)に変えることができます。

豆挽きアイコンの輪の色を変えることができます。

36ページを参照してください。

「 省電力機能設定」

省電力機能をONにすると、設定した時間、何も操作をおこなわないと、画面が少し暗くなります。

画面が暗くなるまでの時間を変更することができます。

38ページを参照してください。

「 パスワード変更」

ホーム画面左上の『』アイコンをタップしてユーザー設定画面に入る際、パスワード入力を求める設定をおこなっている場合のパスワードを、お客様で変更することができます。

40ページを参照してください。

メモ

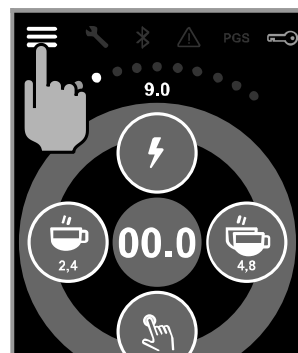
お客様で、ユーザー設定画面、または豆挽き時間（量）の設定画面に入る際、パスワード入力を求める設定をおこなうことはできません。

ユーザー設定画面、または豆挽き時間（量）の設定画面に入る際、パスワード入力を求める設定が必要な場合は、お買い上げ店か、弊社にご連絡ください。

マニュアルモードとプリセットモードの切替え方法

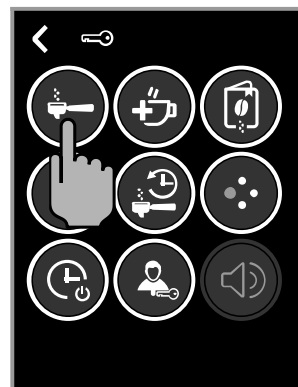
ここでは、ポルタフィルターを本体にセットしてから豆挽きアイコンをタップして豆を挽くマニュアルモードと、ポルタフィルターを本体にセットし、『グラインドスイッチ』を押すと設定された量のコーヒー豆を自動で挽くプリセットモードの切替え方法について説明しています

1. ホーム画面の『≡』アイコンをタップしてください
ユーザー設定画面が表示されます。

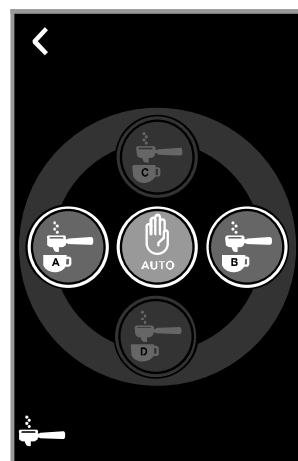


2. 『☞』アイコンをタップしてください
操作をやめる場合は、『◀』アイコンをタップしてください。

プリセットモードの設定画面が表示されます。



3. プリセットモード、またはマニュアルモードを選択してください



各アイコンは以下のことをあらわしています。

項目	内容	設定 / 選択値
	マニュアルモード	タッチパネルの豆挽きアイコンをタップすると、豆を挽きます。
	プリセットAカップ (『1杯用豆挽き』アイコン)	ポルタフィルターをポルタフィルターサポートにセットし、『グラインドスイッチ』を押すと、1杯用の豆を挽きます。
	プリセットBカップ (『2杯用豆挽き』アイコン)	ポルタフィルターをポルタフィルターサポートにセットし、『グラインドスイッチ』を押すと、2杯用の豆を挽きます。
	プリセットCカップ (『フラッシュ』アイコン)	フラッシュと、連続豆挽きは、プリセットに設定することができません。 『1杯用豆挽き』、または『2杯用豆挽き』アイコンに設定していると選択することができます。
	プリセットDカップ (『連続豆挽き』アイコン)	フラッシュと、連続豆挽きは、プリセットに設定することができません。 『1杯用豆挽き』、または『2杯用豆挽き』アイコンに設定していると選択することができます。

4. ユーザー設定を終了してください

ホーム画面に戻るには、画面左上の『』アイコンを2回タップしてください。

プリセットモードを選択した場合、ホーム画面に戻ったとき、選択した豆挽きアイコンの輪が点滅表示されます。

右の画面は、『1杯用豆挽き』アイコンを選択した場合の表示です。

メモ

プリセットモードで、設定している豆挽きアイコン以外の豆挽きをおこないたい場合

ポルタフィルターをセットする前に、ホーム画面で、お好みの豆挽きアイコンをタップしてください。

タップした豆挽きアイコンの輪が点滅表示されます。その状態で、ポルタフィルターをセットし、『グラインドスイッチ』を1度押してください。

アイコンに設定されている時間豆を挽いて停止します。豆を挽いた後は、元の豆挽きアイコンが点滅表示に戻ります。

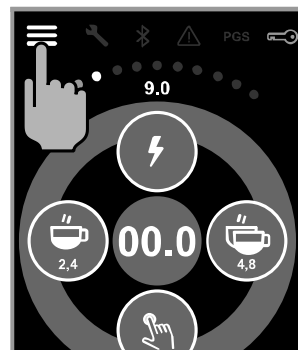


カウンターの表示方法

電源スイッチを「ON(入)」にしてからの1時間あたりの豆挽き回数を確認することができます

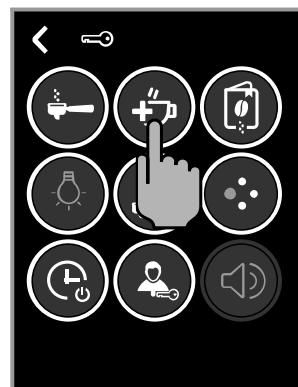
前回カウンターをリセットしてから現在までの豆挽きの合計回数と、電源スイッチが「ON(入)」になっていた時間を確認することができます

1. ホーム画面の『☰』アイコンをタップしてください
ユーザー設定画面が表示されます。

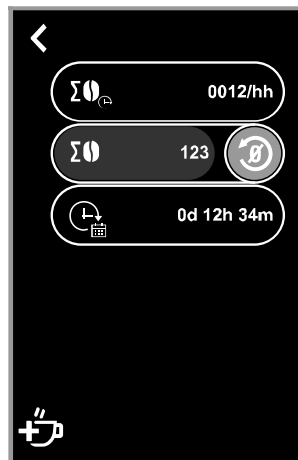


2. 『⚙️』アイコンをタップしてください
操作をやめる場合は、『◀️』アイコンをタップしてください。

カウンターの確認画面が表示されます。



3. カウンターを確認してください

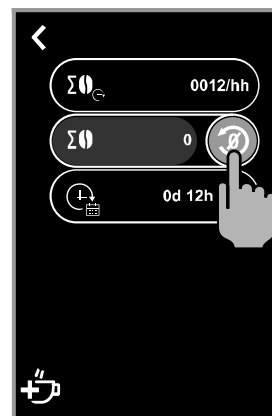


各項目は以下のことをあらわしています。

項目	内容	設定 / 選択値
	電源スイッチを「ON(入)」にしてからの1時間あたりの豆挽き回数	電源スイッチを「OFF(切)」にすると数値はリセットされて0になります。
	前回カウンターをリセットしてから現在までの豆挽きの合計回数 2杯用豆挽きは2回豆挽きしたものととしてカウントされます。 連続豆挽きは、1杯用豆挽きと2杯用豆挽き時間の設定値をもとにカウントされます。	『  』アイコンを約1秒間長押しすると数値がリセットされて値が0になります。
	本機の電源スイッチが「ON(入)」になっていた時間 d : 日数、h : 時間、m : 分	電源スイッチを「OFF(切)」にすると数値はリセットされて0になります。

前回カウンターをリセットしてから現在までの豆挽きの合計回数をリセットする場合

『』アイコンを約1秒間長押ししてください。



4. ユーザー設定を終了してください

ホーム画面に戻るには、画面左上の『』アイコンを2回タップしてください。

豆挽き時間（量）の変更方法

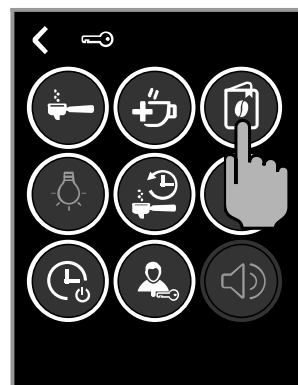
ここでは、豆挽き時間（量）の変更方法について説明しています

1. ホーム画面の『≡』アイコンをタップしてください
ユーザー設定画面が表示されます。

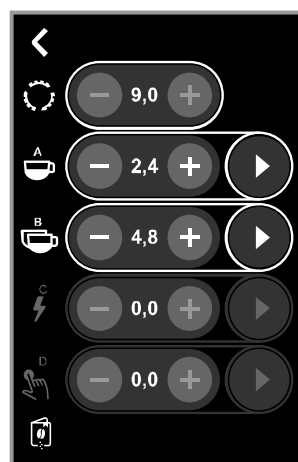


2. 『📄』アイコンをタップしてください
操作をやめる場合は、『<』アイコンをタップしてください。

豆挽き時間（量）の設定画面が表示されます。



3. 豆挽き時間（量）の設定を変更してください



設定できる項目は、下表のとおりです。

項目	内容	設定 / 選択値
	メッシュ調節の値	メッシュ調節つまみをゆっくり半周回すと、0.5刻みで値が変わります。
	『1杯用豆挽き』アイコン	『1杯用豆挽き』アイコンに設定されている豆挽き時間（量）を変更することができます。 設定可能範囲：1.0～15.0（単位：秒） （0.1秒刻み）
	『2杯用豆挽き』アイコン	『2杯用豆挽き』アイコンに設定されている豆挽き時間（量）を変更することができます。 設定可能範囲：1.0～15.0（単位：秒） （0.1秒刻み）
	『フラッシュ』アイコン	『フラッシュ』アイコンの豆挽き時間（量）は、0.3秒間で固定です。 変更することはできません。
	『連続豆挽き』アイコン	『連続豆挽き』アイコンは、豆挽き時間（量）を変更することはできません。

『－』または『＋』をタップして豆挽き時間（量）の値を変更してください。
値を変更した後、『▶』アイコンをタップすると、実際に豆を挽いて豆挽き量を確認することができます。

4. ユーザー設定を終了してください

ホーム画面に戻るには、画面左上の『◀』アイコンを2回タップしてください。

プリセットモード時の追加機能の設定

プリセットモード時の追加機能をONにすると、ポルタフィルターで『グラインドスイッチ』を押している間、設定されている豆挽き時間（量）の豆を挽きます
豆挽きの途中『グラインドスイッチ』からポルタフィルターを離すと豆挽きを中断します
豆挽きを中断したときの限度時間を設定することができます
豆挽きを中断したときの1回の中断時間が、設定されている限度時間を超えると、豆挽き動作がリセットされます

ここでは、プリセットモード時の追加機能の設定について説明します

1. ホーム画面の『☰』アイコンをタップしてください

ユーザー設定画面が表示されます。



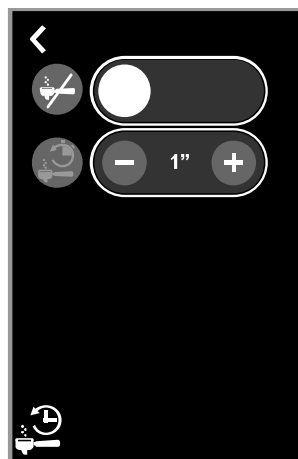
2. 『🕒』アイコンをタップしてください

操作をやめる場合は、『⬅』アイコンをタップしてください。

設定画面が表示されます。



3. お好みに追加機能の設定をしてください



設定の項目は、下表のとおりです。

項目	内容	設定 / 選択値
	「  」(追加機能ON)	プリセットモードを選択している場合、ポルタフィルターで『グラインドスイッチ』を押している間、設定されている時間(量)の豆を挽きます。 豆挽きの途中『グラインドスイッチ』からポルタフィルターを離すと、豆挽きを中断します。 再度『グラインドスイッチ』を押すと、豆挽きを継続しておこないます。
	「  」(追加機能OFF)	プリセットモードを選択している場合、ポルタフィルターで『グラインドスイッチ』を1度押すと、設定されている時間(量)の豆を挽きます。 豆挽きの途中『グラインドスイッチ』からポルタフィルターを離しても、豆挽きは中断されません。
	中断の限度時間	中断の限度時間の設定です。 「  」(機能ON)の状態、豆挽きの途中『グラインドスイッチ』からポルタフィルターを離すと、豆挽きを中断します。 中断している時間が、設定されている限度時間を超えると、豆挽き動作がリセットされます。 設定可能範囲：1 ～ 5 (単位：秒) (1秒刻み)

4. ユーザー設定を終了してください

ホーム画面に戻るには、画面左上の『』アイコンを2回タップしてください。

アイコンとアイコンの色の変更方法

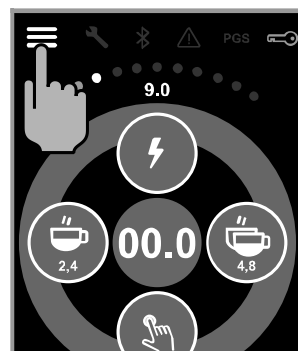
豆挽きアイコンは、お好みで「1 杯用豆挽き」、「2 杯用豆挽き」、「フラッシュ」、「連続豆挽き」、「OFF」(非表示)に変えることができます

豆挽きアイコンの輪の色は、変えることができます

ここでは、豆挽きアイコンと、豆挽きアイコンの輪の色を変更する方法について説明します

1. ホーム画面の『≡』アイコンをタップしてください

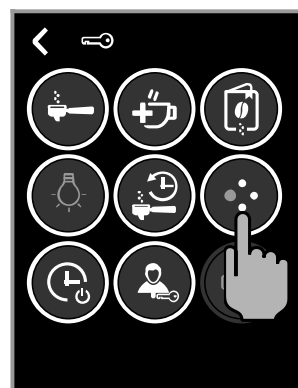
ユーザー設定画面が表示されます。



2. 『⋮』アイコンをタップしてください

操作をやめる場合は、『◀』アイコンをタップしてください。

設定画面が表示されます。



3. アイコンを変更してください

画面左側の表示は、ホーム画面での豆挽きアイコンの位置をあらわしています。

豆挽きアイコンをタップするごとに、アイコンは「1 杯用豆挽き」、「2 杯用豆挽き」、「フラッシュ」、「連続豆挽き」、「OFF」(非表示)に変わります。

『⋮』アイコンをタップするごとにアイコンの輪の色は、「黄色」、「オレンジ色」、「赤色」、「紫色」、「青色」、「緑色」、「白色」に変わります。



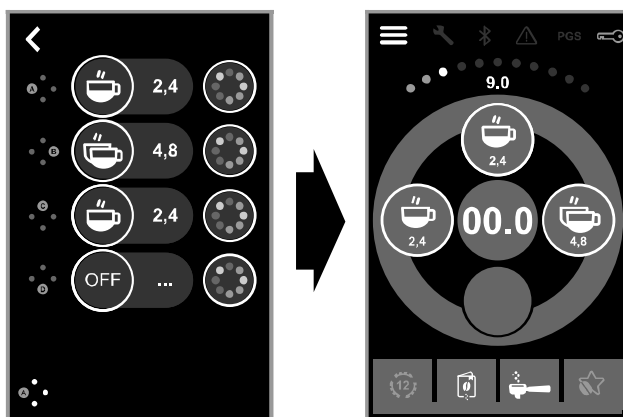
4. ユーザー設定を終了してください

ホーム画面に戻るには、画面左上の『<』アイコンを2回タップしてください。

メモ

豆挽きアイコンを変更した場合の例（イメージ）

『フラッシュ』アイコンを『1杯用豆挽き』アイコンに変更し、『連続豆挽き』アイコンをOFF(非表示)に変更した場合のホーム画面の表示です。



省電力機能の設定方法

省電力機能をONにすると、設定した時間、何も操作をおこなわないとタッチパネルの表示が少し暗くなり、粉取出し口の上部にあるLED照明が消灯します

暗くなっているときは、明るいときよりも消費電力を約60%抑えることができます

暗くなっている状態で、タッチパネルをタップすると再度明るくなり、LED照明が点灯します

省電力機能が作動するまでの時間を変更することができます

ここでは、省電力機能の設定方法について説明しています

1. ホーム画面の『≡』アイコンをタップしてください

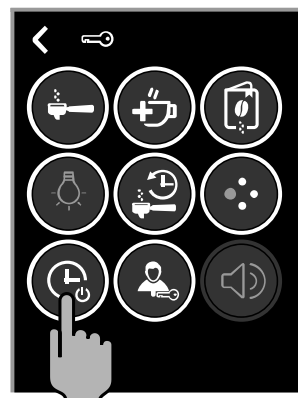
ユーザー設定画面が表示されます。



2. 『⌚』アイコンをタップしてください

操作をやめる場合は、『◀』アイコンをタップしてください。

設定画面が表示されます。

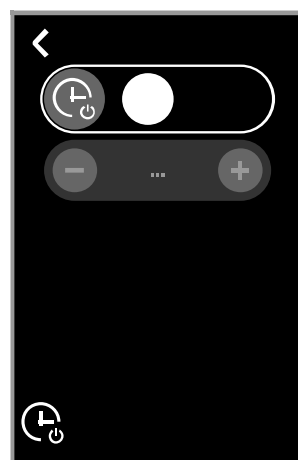


3. 省電力機能を設定してください

『🔘』をタップしてONまたはOFFに切替えてください。

『🔘』：省電力機能を使用する

『🔘』：省電力機能を使用しない

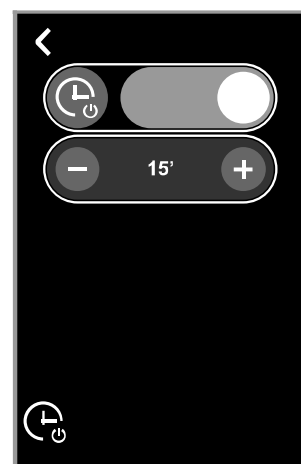


省電力機能をONにすると、省電力機能が作動するまでの時間を変えることができます。

時間を変える場合は、『-』または『+』アイコンをタップして時間を変更してください。

設定可能範囲：5 ～ 60（単位：分、1分刻み）

工場出荷時：15（分）



4. ユーザー設定を終了してください

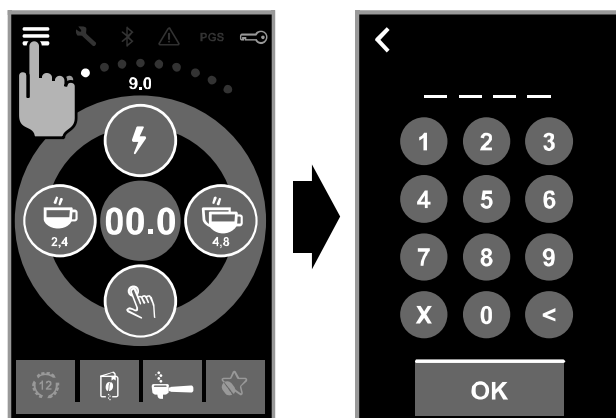
ホーム画面に戻るには、画面左上の『』アイコンを2回タップしてください。

ユーザー設定画面に入るためのパスワードの設定

ホーム画面左上の『☰』アイコンをタップしてユーザー設定画面に入る際、パスワード入力を求める設定をおこなっている場合のパスワードを、お客様で変更することができます

メモ

パスワード入力を求める設定にしている場合は、ホーム画面で『☰』アイコンをタップすると以下のようにパスワード入力の画面が表示されます。



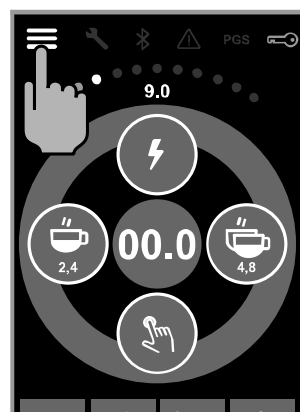
お客様でパスワード入力の画面を表示させる設定はできません。

パスワード入力の画面を表示させる設定が必要な場合は、お買い上げ店か、弊社にご相談ください。

ここでは、パスワード入力の画面を表示させる設定をおこなっている場合、入力するパスワードの変更方法について説明しています

1. ホーム画面の『☰』アイコンをタップしてください

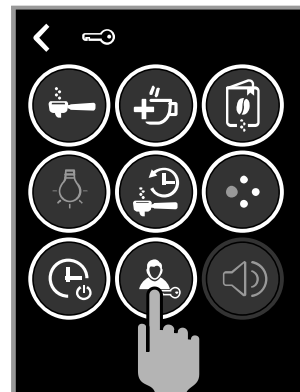
ユーザー設定画面が表示されます。



2. 『』アイコンをタップしてください

操作をやめる場合は、『』アイコンをタップしてください。

パスワードの設定画面が表示されます。

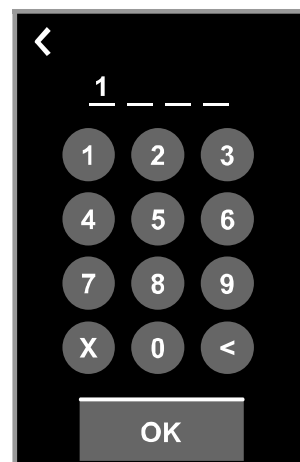


3. パスワードを変更してください

4桁の数字を入力して『OK』アイコンをタップしてください。

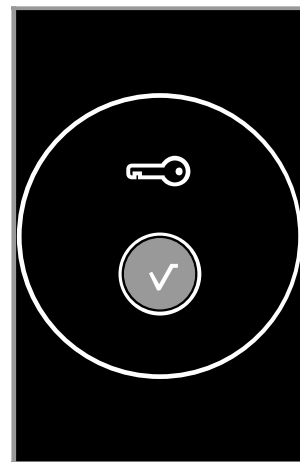
先頭の数字は「1」（確定）になります。

左から2番目以降を入力してください。



右のような画面が約2秒間表示された後、ユーザー設定画面に戻ります。

これで、パスワードの変更が確定されました。



4. ユーザー設定を終了してください

ホーム画面に戻るには、画面左上の『』アイコンをタップしてください。

お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、作業終了後は各部をお手入れしてください。

⚠ 警告



本体に直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



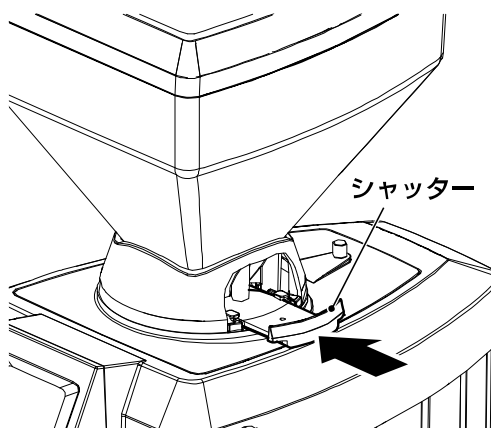
お手入れや点検のときは、必ず電源スイッチを切って機械を止め、コンセントから本機の電源プラグを抜くこと
誤って豆挽きアイコンをタップした場合、ミルカッターが回転してケガの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因にもなります。

1. 本機の電源スイッチを「OFF(切)」にして、コンセントから本機の電源プラグを抜いてください
2. 本体のポルタフィルターサポートなどに付着しているコーヒー粉は、お手持ちのブラシで払い落とし、柔らかい布で拭いてください
3. 受け皿に溜まった粉は捨てて、柔らかい布できれいに拭いてください
4. 本体周辺に飛び散った粉は、掃除機で吸い取ってください
5. ホッパーのシャッターを閉めてください

お願い

ホッパーを取り外す場合は、シャッターを閉めてから取り外してください。

シャッターが開いたままホッパーを取り外すと、ホッパーの下からコーヒー豆がこぼれ出ます。



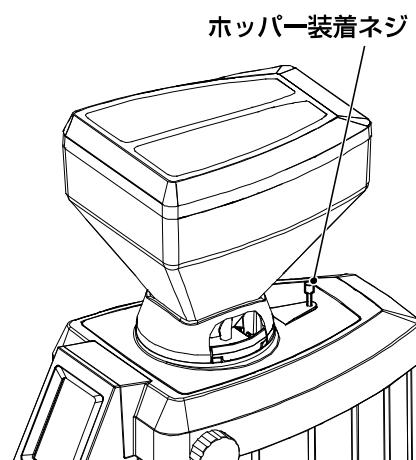
6. ホッパー装着ネジをゆるめてください

お願い

ホッパーを取り外すときは、必ずホッパー装着ネジをゆるめることを忘れないでください。

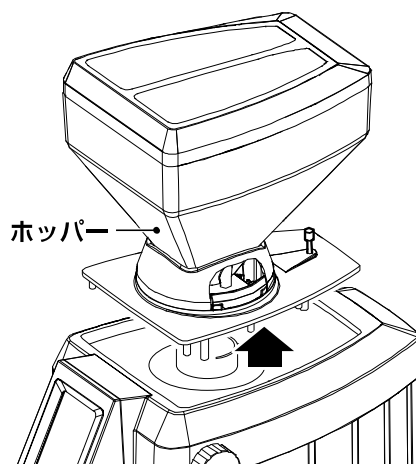
ネジが締まった状態で、ホッパーを無理に取り外そうとした場合、ホッパーを破損する原因になります。

本機を落としたり、転倒させたりした場合、故障の原因になります。



7. ホッパーを本体から取り外してください

ホッパー内のコーヒー豆を全て取り出してください。



8. ホッパー内および本体外装部のお手入れをおこなってください

ホッパー内および本体外装部に付着したコーヒー豆の油汚れは、食器用中性洗剤を含ませた布かスポンジを硬く絞って拭き、きれいな水で濡らした布を硬く絞って十分に洗剤成分を拭き取ってください。

その後完全に乾燥させてください。

お願い

清掃をするとき、クレンザー、酸類、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使わないでください。

キズが付いたり、破損の原因になります。

エラー表示

ここでは、ホーム画面に表示されるエラー表示について説明します

機械に不具合が発生すると、ホーム画面上部に「▲」と白色以外のエラーコードが表示されます。

エラーの原因が解消されるとエラーコードは白色に変わります。

エラーの原因が解消されても「▲」とエラーコード（白色）は表示され続けます。

警告アイコン エラーコード



メモ

「▲」とエラーコード（白色）の表示は、電源スイッチを入れ直しても消えません。
エラーコードの表示が白色の場合は、エラーの原因が解消されている状態ですので、正常にお使いいただけます。

表示されるエラーコードの内容は、下表のとおりです。

エラーコード	内容	手 当
88	ROMの不具合	電源スイッチを「OFF(切)」にしてから、再度電源スイッチを「ON(入)」にしてください。 エラーコードの色が白色に変わらない場合は、お買い上げ店に連絡してください。
96	ミルカッターの交換時期のお知らせ	お買い上げ店にミルカッターの交換を依頼してください。
201	ポテンショメーターの不具合	お買い上げ店に連絡してください。
202	ポテンショメーターの不具合	お買い上げ店に連絡してください。
203	ポテンショメーターの不具合	お買い上げ店に連絡してください。

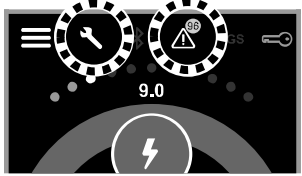
故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の電源スイッチを「OFF(切)」にして機械を止め、コンセントから本機の電源プラグを抜いて、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

状 態	確認 / 症状	手 当
電源スイッチを入れても電源が入らない (※電源スイッチが点灯しない場合)	設備側のコンセントから電源プラグが抜けていませんか？	専用コンセントに電源プラグを差し込んでください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	漏電遮断器が切れていませんか？	漏電遮断器が「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF(切)」になっていると漏電している可能性があります。 無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
電源スイッチを入れても電源が入らない (※電源スイッチは点灯しているが、タッチパネルに何も表示されない場合)	電源基板のヒューズが切れている可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
豆挽きアイコンをタップ、または『グライندスイッチ』を押してもコーヒー豆を挽かない	ホッパー内にコーヒー豆が入っていますか？	コーヒー豆が入っていない場合は、補充してください。
	ホッパーのシャッターを閉じていませんか？	シャッターを開けてください。
	ホッパー装着ネジがゆるんでいませんか？	ホッパー装着ネジがゆるんでいる場合は、きちんと締めてください。
	モーターの保護装置が作動している可能性があります。	電源スイッチを切り、時間を置いてから再度電源を入れてください。
	ミルカッターが、目詰まりしている可能性があります。	メッシュ調節つまみを右側から見て反時計方向に回して、メッシュを粗くしてからモーターを回転させてください。 症状が改善されないときは、お買上げ店へ連絡してください。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。

状 態	確認 / 症状	手 当
本体から異常音が発生する	丈夫な所に設置していますか？	不安定な場合には、お買上げ店へ連絡してください。
	据え付けが悪く、がたついていませんか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	本機に何か触れた状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
	カッター部に異物が噛み込まれていませんか？	電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、カッター部の異物を取り除いてください。
	ホッパー蓋、受け皿が正しくセットされていますか？	ホッパー蓋、受け皿を正しくセットしてください。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
メッシュが粗すぎる	ミルカッターが、目詰まりしている可能性があります。	17ページの「メッシュ調節について」を参照して、メッシュの調整をおこなってください。 症状が改善されない場合は、お買上げ店へ連絡してください。
	ミルカッターが摩耗している可能性があります。	
メッシュにバラツキがある	ホッパー内のコーヒー豆の量が少なすぎる可能性があります。	9ページを参照して、豆の量を調整してください。 症状が改善されない場合は、お買上げ店へ連絡してください。
画面上部にメンテナンス・アイコンとエラー96が表示されている 	20万杯の使用毎に表示されます。	お買上げ店にミルカッターの交換を依頼してください。 メンテナンス・アイコンとエラー96が表示されていても使用は可能です。
漏電遮断器が切れる	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF(切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF(切)」になっていると漏電している可能性があります。 無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグが異常に熱くなる	電源コードを束ねていませんか？	お買上げ店へ連絡してください。
	電源コードをものなどで挟み込んでいませんか？	電源コードを挟み込んでいるものを取り除いてください。

据付けについて

⚠ 警告



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



湿気の多いところや、水などがかかり易い場所に据え付けないこと
本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



アース線を必ず接続すること
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合、感電の原因になります。
設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。

⚠ 注意



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントに直接接続すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

作業に支障がないように、十分なスペースを確保してください

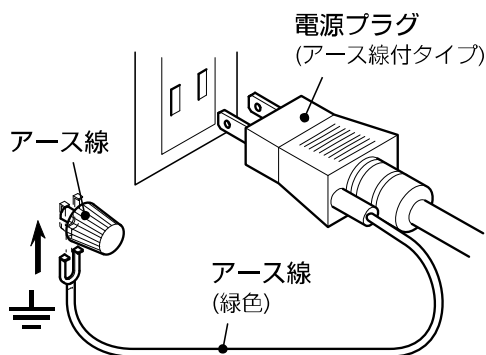
タッチパネルが正面にくるように据え付けてください

本機は、コンセントに電源プラグを接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください

電源コードの長さ：1.7m

電源プラグのアース線(緑色の線)を
設備側のアース端子に接続してください

ご使用の際は、本機専用のコンセント
に電源プラグを差し込んでください



仕様

品 名	エスプレッソ専用 オンデマンドミル 【ラ・チンバリ】
型 式	G50
外 形 寸 法	幅 210・奥行 469・高さ 559mm
電 源	100V 50 / 60Hz
電 流	5.8 / 7.1A
消 費 電 力	520 / 690W
定 格 時 間	15秒 ON / 60秒 OFF
安 全 装 置	モーター保護装置付 ホッパー安全装置付
ホッパー容量	1.0kg（コーヒー豆量）
豆挽き時間設定	1 杯用： 1.0 ～ 15.0 秒 2 杯用： 1.0 ～ 15.0 秒 連続用： 15.0秒まで連続取出可能
質 量	14kg
電 源 コード	長さ1.7m

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付 属 品	受け皿 1 個 取扱説明書（本書） 1 冊
-------	--------------------------------------

保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

ミルカッター	ホッパー
--------	------

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後5年とさせていただきます。

株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

202411 PA